

第2学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月1日（金） 3校時
 児 童 男子3名 女子5名 計8名
 指導者 岩脇 由佳

1 単元名 人ぶつの気持ちをそうぞうして、紙しばいの読み聞かせであらわそう

2 教材名 ニャーゴ（東京書籍 2年）

3 目指す資質・能力

〔知識及び技能〕

・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて文章を音読することができる。 (1)ク

〔思考力、判断力、表現力等〕

・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 C(1)エ精査・解釈

・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 C(1)カ共有

〔学びに向かう力、人間性等〕

・言葉がもつよさを感じるとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、「名前を見てちょうだい」の学習において、人物の様子を声や動きで表す学習を行った。また、人物の様子を表す言葉を見つけ、その言葉にどのような気持ちが込められているかを想像することができるようになってきている。音読や動作化などで表現することは好きだが、気持ちを想像した根拠を明確にしたり、想像したことが伝わるように音読で表現したりする力は十分ではない。

(2) 教材について

本教材は、人物の設定に特徴があり、「食う－食われる」の関係にあるねことねずみの関係が、物語の中で変わっていく。また、会話文や心内語が多く、想像した人物の気持ちを音読で表すことにも適している。文中には、題名でもある「ニャーゴ」という言葉が何度も出てくるが、意味は異なる。それぞれの「ニャーゴ」は言い換えるとどのような言葉になるのか、前後の叙述を手がかりに想像を広げることができる。友達と話し合いながら想像を広げることができ、学んで想像したことを、音読を通して伝えるのに適した教材である。

(3) 指導について

本単元では、場面の様子を捉え、人物の気持ちを想像し、全校児童に向けてニャーゴの紙芝居を披露するという言語活動を位置付けた。相手意識を明確にすることで、学習の意識も高まると考えた。

指導について、次の2点に留意する。1点目は、人物のしたことや様子、挿絵などから読み取ったことをもとに、人物の気持ちについて想像を広げながら読むことである。確かな読みにつなげるために、一人一人が安心して考えられる場を設け、読み取りは全体の場で確認していきたい。2点目は、想像した気持ちを、音読を通して表現に生かすことである。想像した気持ちの根拠を問いかけることで、物語の内容をより正確に理解できるようにしたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ((1)ク)	①「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 (C(1)カ)	○進んで、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って、人物の気持ちを書き込んだり、音読であらわしたりしようとしている。

6 単元計画 (11時間)

次	時	○主な学習活動 ・指導の手立て ●評価規準 [] は観点, 下線は評価するもの
1	1	○全校児童に紙芝居の読み聞かせをするという単元のゴールを知る。 ○学習の内容を意識しながら通読し, 初発の感想を書く。
	2	○学習計画を立てる。
	3	○挿絵を基に, 物語を場面に分ける。
2	4	○挿絵一の場面 (第一場面) を読んで, 子ねずみたちの気持ちを想像する。 ・人物がしたことや言ったこと, 様子がわかる言葉を確認できるようにする。 ・台詞を言いかえたり, 付け足したりして, 人物の気持ちを想像できるようにする。 ・考えた気持ちと, 考えの根拠を交流できるようにする。 ・音読の仕方を考え, 練習できるようにする。 ●子ねずみたちの様子を想像し, 音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
	5	○挿絵二の場面 (第二場面) を読んで, ねこの気持ちを想像する。 ・人物がしたことや言ったこと, 様子がわかる言葉を確認できるようにする。 ・台詞を言いかえたり, 付け足したりして, ねこの気持ちを想像できるようにする。 ・考えた気持ちと, 考えの根拠を交流できるようにする。 ・音読の仕方を考え, 練習できるようにする。 ●ねこの気持ちを想像し, 音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
	6	○挿絵三の場面 (第三場面) を読んで, ねこの気持ちを想像する。 ・人物がしたことや言ったこと, 様子がわかる言葉を確認できるようにする。 ・台詞を言いかえたり, 付け足したりして, ねこの気持ちを想像できるようにする。 ・考えた気持ちと, 考えの根拠を交流できるようにする。 ・音読の仕方を考え, 練習できるようにする。 ●ねこの気持ちを想像し, 音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
	7 本 時	○挿絵四・五・六の場面 (第四場面) を読んで, ねこの気持ちを想像する。 ・人物がしたことや言ったこと, 様子がわかる言葉を確認できるようにする。 ・台詞を言いかえたり, 付け足したりして, ねこの気持ちを想像できるようにする。 ・考えた気持ちと, 考えの根拠を交流できるようにする。 ・音読の仕方を考え, 練習できるようにする。 ●ねこの気持ちを想像し, 音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
	8	○挿絵七の場面 (第五場面) を読んで, ねこの気持ちを想像する。 ・人物がしたことや言ったこと, 様子がわかる言葉を確認できるようにする。 ・台詞を言いかえたり, 付け足したりして, ねこの気持ちを想像できるようにする。 ・考えた気持ちと, 考えの根拠を交流できるようにする。 ・音読の仕方を考え, 練習できるようにする。 ●ねこの気持ちを想像し, 音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
3	9	○読み聞かせの練習をする。 ・それぞれの「ニャーゴ」の違いに注目し, 音読の練習をできるようにする。 ・学習してきたことをもとに, 音読の仕方を工夫できるよう留意する。
	10	●学習したことをもとに, 人物の気持ちを音読で表現することができているかの確認。 [知識・技能] [主体的に学習に取り組む態度] <u>読み聞かせ練習</u>
	11	○紙芝居の読み聞かせをし, 学習の振り返りをする。 ・自分の発表についての感想や, 他の児童の発表のよかったところなどを交流できるようにする。 ●単元の学習を振り返り, できるようになったことや友達から学んだことを確かめることができているかの確認。 [主体的に学習に取り組む態度] <u>振り返り</u>

7 本時の指導（7／11）

(1) 本時の目標

子ねずみたちを食べようとしていたねこの気持ちの変化を捉え、音読で表すことができる。

(2) 協働的な学びについて

ねこや子ねずみたちのしたことや様子、会話から読み取ったことをもとに気持ちを想像するよう促し、考えた気持ちの根拠や読み方の工夫をペアで交流しながら、物語の内容の理解を深めたい。理由まで話すことができない児童も、友達の考えに共感したり、新たな考えに気づいたりすることで、想像を広げられるようにしたい。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	・指導上の留意点 ●評価
つかむ 5分	1 本時の確認 学習課題を確認する。 ねこの気持ちがかわっていくようすを、音読であらわそう。	・前時までの話の流れを振り返らせる。 ・ねこに注目していくことを確認する。
深める 30分	2 課題解決 (1) 音読をする。 (2) 内容の大体を捉え、ねこの気持ちを考える。 ・人物がしたこと、様子、会話から読み取れることの確認をする。 ・読み取ったことから、ねこの気持ちを想像する。 （食いたいメーター） ・考えの根拠をペアで交流する。 (3) 気持ちを表す音読の工夫を考える。 ・ねこの会話文について考える。 ・(2)で読み取ったことから、ねこの気持ちの変化を音読で表す工夫を考える。 ・気持ちに合った読み方をペアで相談する。 ・考えた読み方を全体で交流する。	・人物のしたことや様子、会話に注目した上で、音読できるようにする。 ・読み取りが苦手な児童も、物語の流れをつかみ、次の活動につなげられるよう、全体で読み取りを進めていく。 ・言葉を言い換えたり、付け足したりして、想像を広げられるようにする。 ●ねこの気持ちを想像し、音読に表すことができているかの確認。 [思考・判断・表現①②] 音読, シート
まとめる 10分	3 まとめ ・ねこの気持ちが伝わるようにまとめの音読をする。 ・自分の学び方についての振り返りを書く。	

(3) 本時の評価規準

	おおむね満足 (B)	努力を要する児童 (C) への手立て
読むこと	・人物のしたことや様子、会話から気持ちを想像し、音読の仕方を工夫しようとしている。	・ヒントとなる叙述からわかることを一緒に確認し、人物の気持ちを想像させるようにする。 ・叙述をもとにしながら、友達の考えを参考にし、音読のしかたを工夫できるようにする。